

令和3年9月15日 基地周辺対策特別委員会 議事録
9時58分 開会

○出席委員 (8人)

委員長 北地 範久

副委員長 児玉 朋也

委員 小中 真樹雄、中川 智之、和田 芳弘、山崎 年一、寺岡 公章、
山本 孝三

議長 賀屋 幸治

副議長 網谷 芳孝

○欠席委員 なし

○北地委員長 おはようございます。少し早いようですけれども、皆さんおそろいのようなので始めさせていただきたいと思います。

それでは、定足数に達しておりますので、ただいまより会議を開きます。

開会に当たり、市長がお見えですので御挨拶をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

市長。

○入山市長 基地周辺対策特別委員会、開催ありがとうございます。よろしくお願い申し上げます。

○北地委員長 ありがとうございます。

それでは、日程にしたがって進めさせていただきます。

まずは日程1、執行部報告事項についてを議題といたします。執行部から報告をお願いいたします。

課長。

○田中危機管理課長 おはようございます。それでは、定例ではございますが、資料に沿って基地周辺対策関係の報告をいたします。

お手元に資料1から資料4を配付しておと思います。

まず、資料1を御覧ください。こちらは阿多田地区における日常の航空機の騒音状況につきまして、漁業協同組合の職員の方をお願いをしまして、御自身や住民の方が感じたことの実情等について記載をお願いしているものでございます。5月から7月まで3カ月の間のものとなっております。

この報告内容につきましては、毎月取りまとめ、中国四国防衛局、岩国防衛事務所のほうに、騒音苦情の実態といたしまして情報提供するとともに、騒音対策への配慮と訓練等の情報提供等についてお願いをしておるところでございます。

続きまして、資料2というのを御覧ください。

こちらは阿多田漁業協同組合の屋上に防衛省が設置しております騒音自動測定器から、航空機等が飛来した際の音をデシベル値で表した表となっております。1日単位、発生時

間別で集計した結果を示しております。こちらも5月から7月の内容となっております。

90デシベル以上を記録したところが黄色い表示となっておりますけれども、数えてみますと5月が38回、6月が9回、7月が4回ということで、3カ月合計ですと51回となっております。

昨年11月の上旬に空母艦載機が岩国基地のほうに帰還して以降、昨年11月から今年の1月までの3カ月の合計は285回、2月から4月までの3カ月の合計が319回と増加の傾向でしたけれども、5月から7月にかけての3カ月間は大幅に減少しているという状況です。こちらは昨年度も同様の傾向が見られております。

続きまして、横長のものになります、資料3を御覧ください。

こちらは、防衛省が岩国航空基地の周辺市町25カ所に設置しております騒音測定器から計測された値を、うるささ指数に変換して集計しているものでございます。こちら全て、中国四国防衛局のホームページ上で掲載されているものをまとめたものです。1枚目から3枚目までが、4月から7月までの月別平均値を掲載したもので、4枚目以降、少し枚数多くなりますけれども、こちらが4月から7月までの毎日の計測結果を示した表となっております。

大竹市の測定地点は、ナンバー7、阿多田島漁業協同組合と、ナンバー9、サントピア大竹の2カ所となっております。こちらの数値でも阿多田島は4月に比べ5月以降は減少傾向見られておりますけれども、他の測定地点のうち、居住地に該当する部分の中では、阿多田島の騒音が激しいという状況はこれまでの報告と変わっていないという状況です。

続きまして、ページ大分飛びますけれども、資料4、縦長の表となっております。

こちらは先ほど見ていただきました資料3のW値、こちらの月別の平均値を折れ線グラフで表したものとなっております。ナンバー7の阿多田島と、ナンバー3の岩国基地の北側にあります岩国市三笠町東中学校の数値の比較をしたものとなっております。

データの見方ですが、緑色の線が平成20年度で滑走路の沖合移設前の状況、青色の線が平成28年度で沖合移設後、黄色の線が令和元年度、赤色が令和2年度となっております、今年が黒い色の線となっております。

空母艦載機移転後の直近の計測値の比較の表になっておるんですけども、令和3年度、黒い線を見ていただくとわかりますように、4月の時点で比較しますとこれまでで最も高い値を示しておりましたけれども、6月以降は前年度と比べても低下しているという状況がおわかりいただけるかと思えます。

報告については以上でございます。よろしく申し上げます。

○北地委員長 ありがとうございます。ただいま御報告をいただきました件につきまして、よくわからない点とか、聞いてみたいというところがございましたら質問を受けたいと思います。何かございますでしょうか。

山本委員。

○山本委員 今日この会議で、具体的に委員会としてこれからの取り組みをこうする、ああするというようなことの提案なり、お考えになつとる事案というのはないですか。

○北地委員長 今は報告事項の件なので、それについてはまた後でやりますんで。

- 山本委員** 報告はまあ従来どおりのあれじゃけ、むしろ今から私の提案と言え提案、皆さんへの検討課題としてお願いしたいことの中の1つに、この騒音測定器をふやすということだね。
- 北地委員長** そういった件については、今報告事項についての御質問を受けるところですので、その件につきましてはまた後でやりますので。
- 山本委員** だから、従来の報告の内容というのは、我々が地域の皆さんから聞いたようなことはこれに反映されとらんのため、これまでの議会報告会の中でも、場所によつたら騒音がうるそうていけんと、何とかならんかということが参加された人から出てきた事例もあるんですよ。そういうときに、前回の基地周辺対策特別委員会でも市として測定器をふやすということができないんかということ、何回も申し上げるとんじゃが具体的には、いつも報告事項だけで終わるとんだから。
- 北地委員長** 山本議員、申し訳ありません、それは日程2のほうでまたお伺いしますんで。
- 山本委員** 日程があるんですね。あるんなら具体的にそのときに。
- 北地委員長** そのときにまたお話伺いますんで、よろしくお願ひします。
質疑はございませんか。
小中委員。
- 小中委員** 先ほどの御報告の中で、前四半期に比べて前年と同じように減少傾向にあるという報告でしたけれども、原因としてはどういうところが考えられるかわかっていけば教えていただきたいと思ひます。
- 北地委員長** 堀江主幹。
- 堀江危機管理課主幹** 今年度になりまして、米軍の対応が少し前年度以前と変わった状況になってまして、まず、グアムへの訓練のために部隊が集団で移動して訓練していたこと、それからアフガニスタン情勢に鑑み、米空母が出港していたために艦載機も岩国市から一時的にいらなくなっていたこと、これらの状況が背景にあると思ひます。細部については不明です。以上です。
- 北地委員長** ありがとうございます。
他に質疑ございませんでしょうか。
〔「なし」と呼ぶ者あり〕
- 北地委員長** ないようでございます。
それでは、以上で日程1については終了といたします。
次の日程2については、委員のみの協議となりますので、執行部の方は退席しても結構かと存じます。ありがとうございます。
それでは、日程2、その他についてを議題といたします。
ここでは、本委員会これから協議していく内容について話し合いをしたいと思ひます。皆さんの意見や考えを聞かせていただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。何かございましたら。
山本委員。
- 山本委員** これは私の、日頃から感じている思いなんで、皆さんとその思いが共有できる

かどうかについては、これからの協議を通じてのことになるうかと思うんです。

沖縄の基地の問題というのは、結局、この日本全国に関係する問題でもあるわけです。それで今、沖縄で大きな問題になっているのは、戦時中に犠牲になられた島の人たちの遺骨がある、その土地を利用して基地拡張のために土砂を使うということが大きな問題になっている。先日の新聞にも、今、現地では遺骨の収集をボランティアの方がおやりになっているのに、その土地を、土砂を基地拡張のために使うということは人道上許されないんじゃないか、そういったことで防衛省はじめ関係機関に収集ボランティアの皆さんが要請書を手渡しをされたというのが、今日の新聞に載っています。

そういったことで、基地問題というのは沖縄と連帯をして、騒音はもちろんですが、低空飛行の問題だとか、航空機事故に対する対応だとかというふうなことで、国民が心配している、いろいろ悩まされている事柄について、連帯をしてそれをどう減少させるか、どう食い止めるかというのが、私は基地問題を考える場合の大きな宿題ではないかと、こう思うんですが、そここのところは皆さんの意見もあろうと思いますが、そういった視点での基地問題への取り組みを今後進めていく必要があるんじゃないかということをお願ひして、基地周辺対策特別委員会のほうでこれからの取り組みについて、こういうことを提案したいということがあれば、その紹介も兼ねて1つ加えてもらいたいと思うんですがどうでしょうか。

○北地委員長 今、山本委員のほうから御意見ございましたけれども、全国的なレベルの話になっておりますが、これについての取り組みについて、皆さんお考えがもしあれば、この段階で議論するかどうかはあるんですけども。

児玉副委員長。

○児玉委員 確かに今、山本委員が辺野古基地を埋め立てるのに沖縄の山の土砂を使ったら、昔埋めたところの骨とかがあって、そこから土砂を運搬するということが沖縄の人が大変反対しているのはテレビの情報で知っております。しかしながらそれも大事なんですけども、やはり今は大竹市の基地周辺対策特別委員会としては、そういう大きな点でも大事だとは思いますが、大竹市に直接関係したような対策を先にしていくべきで、岩国市、周防大島町、和木町、大竹市、2市2町で関連して協力して基地対策をやっていくような方策のほうが、差し向き大事だと思うんですがいかがでしょうか。

○北地委員長 ありがとうございます。

副委員長のほうからもそういう御意見ございましたけれど、皆さんとしてはいかがでしょうか。

寺岡委員。

○寺岡委員 すいません、私自身が今日そういった案を持ってきたわけじゃないんですけど、今の副委員長と山本委員のお話伺うと、大竹市議会としては身近な問題、市民に直接影響のある課題を抽出したほうが、議会としてはそちらが優先度が高いのではないかと感じました。そういったところですが。

○北地委員長 ありがとうございます。他にはございませんでしょうか。御意見だけ伺っておきます。

山崎委員。

○山崎委員 沖縄の辺野古の問題も大きな問題とは思いますが、大竹市議会に今求められておるのは、再編交付金以降の財政的な支援についてどう取り組むか。あるいは阿多田島の騒音に対してどう取り組むか。また、防音工事等の課題もあるようでございますので、そういったことへの地元の取り組みをまず議会としてやっていこうと言われる、寺岡委員の発言については私も賛成です。また、大きな問題については、全国的なレベルの取り組みとかそういったものが出てくれば、その時点で対処していくという方向で当面はいいんじゃないかと思います。以上です。

○北地委員長 ありがとうございます。他にございませんか。

網谷委員。

○網谷委員 今の皆さんの発言のように、おおむね私も大竹市を中心として、関係した問題に取り組むべきだと思います。

確かに辺野古の問題、沖縄の大変大きな戦災のことも大事ではありますが、それは大きな国の課題といたしまして、我々が今後まずこの2年間といいますか、早急に取り組んでいきたいのが、今、山崎委員も言われましたように、主には再編交付金の問題だと思います。もう令和3年度で打ち切りということがわかっておるんですが、もうあれから半年もたっております。いまだに、具体的な情報も我々の耳に入っていないと思うんですが、これからもう予算編成にもかかろうかと思えます。国のほうでも予算編成にかかる、大竹市ももちろんでございますが、そのような時点で、議長もおられますんで、議長と市長がしっかり連携を組んでいただきまして、再編交付金の名目が再編から変わるかもわかりませんが、その情報をしっかり集めていただき、我々もその情報の下に協議していけたらと思えます。そのようなことも重点項目として入れていただけたらと思えます。以上です。

○北地委員長 ありがとうございます。

進め方という、少し漠然とした聞き方で申し訳なかったんですけども、皆さんの御意見としては、直近の大竹市に直接関係のある問題から取り組んでいきたいというような方向性みたいなので、山本委員の御意見も重々わかっておるんですけども、皆さんの御意見としては身近な問題から取り組んでいこうというような方向で行きたいというようなことになろうかと思えますので、よろしく願います。

ほかに何か進め方について、何かやってみたいとか、そういうのがもしあれば、どうしましょうかね、たちまちこの場でというのもあれですから、そうですね、最終いつまでに。

〔発言する者あり〕

○北地委員長 それでは、皆さんの個人的な御意見もございましょうし、会派の意見もございましょうから、会派に持ち帰っていただいて、意見をいろいろ聞いていただいて、本定例会の最終日である、24日までに文書で事務局のほうに出していただければと思います。それをもって正副委員長のほうで調整していきたいと思えますので、これからの進め方について何か御意見をよろしく願います。

これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

(3.9.15)

○北地委員長 異議なしということでございますので、以上で、日程2については終了いたします。

全ての日程を終了いたしましたので、基地周辺対策特別委員会を終了いたします。ありがとうございました。

10時20分 閉会